

給食だより

2019
1月
三島市立沢地小学校

家の人と読んでください 1月の栄養目標 感謝して食べよう

全国学校給食週間とは…

毎年1月24日～30日の1週間は全国学校給食週間です。

明治22年から始まった給食は、戦争で一時中止になりました。戦争が終わって、昭和21年12月24日に東京都、神奈川県、千葉県の子供約25万人を対象に試験的に実施されました。

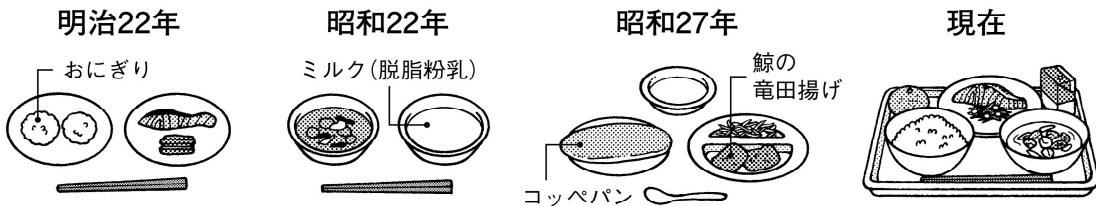
この日、東京都麹町区永田小学校でララ物資の贈呈式が行われました。

昭和25年からは、冬休みの関係で1月24日より1週間を「学校給食週間」として、全国各地で開催されるようになりました。



※ララ物資とは、アメリカの慈善組織ララが提供していた日本向けの救援物資のこと。

給食の移り変わり



学校給食は、明治22年に山形県の忠愛小学校で、貧困児童を対象に無償で昼食を提供したのが始まりです。その後、さまざまな歴史を経て、今に至っています。

食べる喜びを味わおう

給食ができるまでには、どのような人々が働いているのでしょうか。好き嫌いで給食を残している人はいませんか。みんなの口に入るものは、たくさんの人たちによって作られています。食べ物を大切にして、苦手なものもがんばって食べましょうね。



感謝の気持ちを込めて「いただきます」「ごちそうさま」が言えていますか？



献立紹介 七草がゆ

＜材料 4人分＞

米	1カップ
水	4カップ
塩	小さじ1
清酒	小さじ1
七草	1パック

＜作り方＞

- ①米をといで、ざるにあげ30分位置く。
- ②水の中に、米、清酒を入れて中火で炊く。
- ③七草は、大根とかぶをのぞき他の七草は湯がいて適当に切る。
- ④②に大根とかぶを入れ、炊き上がったら七草を入れ塩で味付けをする。